台風19号による被災者への支援活動について

10月13日未明の台風19号によって被災されたみなさまに，心からお見舞い申し上げます。

大崎市病院事業では，13日に災害派遣医療チーム（DMAT）を古川地域や鹿島台地域の避難所に派遣しました。

また，14日からは県の要請を受けDMATを丸森町に派遣し，現地の災害対策本部の指示のもと，町内の避難所や老人ホームを巡回し，被災者の健康状態の確認や診察等のほか，避難所の支援，被災地の病院からの患者搬送業務等を行っています。

15日からは，鹿島台地域の避難所（旧鹿島台第二小学校）に，大崎市民病院鹿島台分院の医師や看護師等3～4人を派遣しています。避難所では，避難者の健康状態の確認や診察のほか，感染症予防の啓蒙活動，管理栄養士による栄養相談などを行っています。

当院では，今後も職員の派遣などを通じ被災者の支援を行ってまいります。